

単元デザイン (3年 英語科)

単元名 PROGRAM7 What Is the Most Important Thing to You? (8時間扱い)

単元について

本単元では、世界中でボランティア活動を行って途上国を支援し、また途上国のために働く意欲のある人材育成への取り組みを続ける山本敏晴さんの活動が題材となっている。山本さんが取り組んでいる「お絵かきイベント」を通して、アフリカや南太平洋の途上国の現実を知ると同時に、自分の国に夢や希望を持って生きる子どもたちの描いた絵に込められた力強いメッセージを通して、生徒に自分にとって本当に大切なものは何なのかを考えさせ、理由も含めて英語で表現させたい。

言語材料としては主格の関係代名詞を主として扱う。また、より表現の幅を広げ、自然な説明ができるように目的格の用法についても触れる。単元の最後に思いをもって「自分の大切なもの」について表現できるよう、単元を通して口頭練習を繰り返し、話すことから書くことへとつなげていきたい。

単元の指導目標

「自分にとって大切なもの」について関係代名詞を用い、理由も含めて説明することができる。

単元の評価規準

- ① 3 ヒントクイズや自分の考えを英語で積極的に相手に伝えようとしている。 (コミュニケーションへの関心・意欲・態度)
- ② 自分にとって大切なことについて、関係代名詞を用い、理由も含めて50語以上で書くことができる。 (外国語表現の能力)
- ③ 山本さんの活動や子ども達の願いについて、自分の考えや感想を持ちながら読むことができる。 (外国語理解の能力)
- ④ 主格の関係代名詞を用法や文構造を理解し、運用することができる。 (言語や文化についての知識・理解)

単元の計画

時間	本時の学習課題	対話的な活動	本時の振り返り	本時の評価規準
1	家族や友達について、詳しく説明しよう。	・身近な人の写真や絵を見ながら、関係代名詞 who を用いて友達に説明する。	・本時のまとめと人物紹介の英文を自己評価シートに記入する。	・主格の関係代名詞 who を正しく使い、人の紹介をすることができたか。(言語や文化についての知識・理解)
2	自分の身の回りの物について詳しく説明しよう。	・身の回りの物の写真や絵を見ながら、関係代名詞 which を用いて友達に説明する。	・本時のまとめと身の回りの物の紹介の英文を自己評価シートに記入する。	・主格の関係代名詞 which を正しく使い、人の紹介をすることができたか。(言語や文化についての知識・理解)
3	前沢の人や物について詳しく説明するスキットを作ろう。	・目的格の関係代名詞 which, that を用いて前沢について紹介するスキットをペアで作る。	・本時のまとめと、前沢の人や物について紹介する英文を自己評価シートに記入する。	・目的格の関係代名詞 which, that を正しく使い、人や物について紹介することができたか。(言語や文化についての知識・理解)
4	前沢や中学校に関わる 3 Hints Quiz を作ろう。(本時)	・関係代名詞を用いて、人やものについて 3 Hints Quiz を作り、友達とクイズを出し合う。	・本時のまとめと作ったクイズを自己評価シートに記入する。	・3 Hints Quiz を積極的に他の生徒に伝えることができた。(コミュニケーションへの関心・意欲・態度) ・関係代名詞を正しく使い、人や物についてクイズを作ることができた。(言語や文化についての知識・理解)
5	山本さんの活動の目的を読み取ろう。	・山本さんの活動について感じたことを伝え合う。	・読み取ったことから考えたことを自己評価シートに記入する。	・山本さんの活動について読み取り、自分なりの感想をもつことができたか。(外国語表現の理解)
6	発展途上国の子どもたちの描いた絵について読み取り、子どもたちがどんな思いでその絵を描いたのか考えよう。	・子どもたちにとって一番大切なものとその理由について考えを述べ合う。	・読み取ったことから考えたことを自己評価シートに記入する。	・子どもたちの願いについて読み取り、自分たちの考え方の違いについて考えることができたか。(外国語理解の能力)
7	自分にとって一番大切なものについて伝え合おう。	・自分にとって一番大切な物についてメモ(マッピング)をもとに伝え合う。	・他の人の発表を聞いて感じたことを自己評価シートに記入する。	・自分の考えを積極的に相手に伝えることができた。(コミュニケーションへの関心・意欲・態度) ・自分の大切なものについて、表現を工夫し発表することができた。(外国語表現の能力)
8	自分にとって一番大切なものについて50語以上の英文で書き、読み合おう。	・7時間目で発表した内容をもとに、自分にとって一番大切なものを説明する英文を書く。	・他の人の原稿を読んで感じたことや気づいたことをもとに、自分の原稿を修正し、完成させる。	・自分の大切なものについて、50語以上の英文で書くことができた。(外国語表現の能力)

本時のねらい 関係代名詞の働きを理解し、人やものについてのクイズを作ることができる。

時間	学 習 活 動	指導上の留意点・授業スタイルとの関わり
導入 10分	1 あいさつ 2 教師から関係代名詞を用いたクイズ（3～5問）を出題 （本時の学習課題） <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> ・前沢や中学校に関わる 3 Hints Quiz を作ろう。 </div>	・主格、目的格の関係代名詞を用いたクイズを出題する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 例) This is a man who lives in Mizusawa. This is a man who teaches P.E. He is good at Kendo. </div>
展開 30分	3 Dictation 形式で穴埋めをする 4 関係代名詞の働きについて確認する 最初のクイズや Dictation を踏まえ、文構造の特徴をつかむ 5 関係代名詞を用い、前沢や学校に関わるクイズを作る。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> （対話的な活動） 関係代名詞を用いて、身近な人やものについてグループで 3 Hints Quiz を作ろう。 </div> 6 作ったクイズを出し合う	○関係代名詞の働きや特徴をワークシートに書く（個） ○グループで構造について確認し、全体で共有する（対話） ○「何について」「どんな説明をするか」考える（個） ○考えたことをグループで出し合い、クイズを作る（対話） ・クイズを読む際のポイント（間や強勢）を確認する ・なるべく多くの人とクイズを出し合い、共有したいものは発表させる。
振り返り 10分	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 授業のまとめと振り返り ・関係代名詞の働きや使い分けについて自分の言葉で振り返りシートにまとめ、発表する。 ・振り返りシートに、オリジナルの3ヒントクイズを書く。 </div>	○振り返りシートへの記入（個）

本時の評価

- ・ 3 Hints Quiz を積極的に他の生徒に伝えることができたか。（コミュニケーションへの関心・意欲・態度）
- ・ 関係代名詞を正しく使い、人や物についてクイズを作ることができたか。（言語や文化についての知識・理解）